令 和 元 年 度　教 育 研 究 業 績 書

氏名　　山田昇平

最終学歴	大阪大学大学院博士後期課程　修了	
取得学位	博士（文学）	
所属学会	日本語学会、日本音声学会、訓点語学会、大阪大学国語国文学会	
専門分野	国語学	
研究課題	日本語音韻史、キリシタン資料	
授業科目	学部担当科目	・日本語の歴史Ⅰ、Ⅱ ・古層日本語論 ・言語文学Ⅰ、Ⅱ（四） ・国文学講読（六） ・演習Ⅰ（七） ・演習Ⅱ（六）
	大学院修士課程 担当科目 （博士前期課程含）	
	大学院博士後期課程 担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】	・東北大学図書館狩野文庫への文献調査を行い、同文庫の貴重書類を閲覧し、日本語史研究上の位置づけなどを検討した。 ・渡辺匡一氏（信州大学人文学部教授）の主導する、仏法広隆寺（長野県諏訪市）への聖教調査に参加し、同寺の文献の書誌情報などの調査・整理を行った。	
【教育上の特記事項】	・私立東大阪大学柏原高等学校にて出張模擬授業を行った（10月17日） ・学生と共に自主勉強「国語学（日本語学）の論文を読もう会」を立ち上げ、国語学分野における高度な内容の論文を対象に読解を行った。	
【社会的活動】		
【学内活動】 （学内職歴を含む）	学生指導委員、男子バレーボール部顧問	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
(著書) ①「ガゴゼは奈良のことばなのか？」『奈良大学ブックレット』 ② ③ ④	共著	2020年3月	ナカニシヤ出版	元興寺に語源を持つとされる妖怪「ガゴゼ」について、先行研究を踏まえつつその語源説を検討し、語源の学術的な捉え方を紹介した。
(学術論文) ①「漢語接尾辞「チュウ」・「ヂュウ」の歴史―中世末・近世初期における―」 ② ③ ④	単著	2019年9月	『訓点語と訓点資料』143 pp. 24-42(左開)	漢語接尾辞「チュウ」・「ヂュウ」について、中世末・近世初期を対象に共時的に記述した。査読有。
(学会発表) ①将門の笑い声ー『平治物語』における「しいとぞ笑ひける」をめぐって ② ③ ④	単著	2019年8月	第24回奈良大学国語教育研究会	『平治物語』にみえる擬声語「しい」が舌打ち音をあらわすことを明らかにし、かつての舌打ちは広く感動をあらわす行動であったとする見方を提出した。
(その他) ① ② ③ ④				